

新潟地域産業見本市事前予約型個別ビジネス商談会用 マッチングシステム構築業務に係る仕様書

新潟地域産業見本市実行委員会は「新潟地域産業見本市事前予約型個別ビジネス商談会用マッチングシステム構築業務」の仕様を下記のとおり定めるものとする。

I. 概要

1. システム開発の目的と概要

新潟地域産業見本市の中核を成す「事前予約型個別ビジネス商談会」を現在の年間 1 回の開催から、来年度以降、年間複数回の開催に移行するにあたり、提案者・提案聞き手の参加者、およびマッチング業務を運営する開催事務局（「新潟地域産業見本市開催事業に係る仕様書」参照）の業務負担の軽減を行うとともに、より活発な商談を促進するツールを整備する。

※必ず「新潟地域産業見本市開催事業に係る仕様書」を参照し、新潟地域産業見本市の詳細を確認すること。

2. システム概要

- ・システム名：事前予約型個別ビジネス商談会用マッチングシステム
- ・すべての商談会関係者（提案者・提案聞き手、開催事務局）が Web ブラウザ上で操作
- ・CSV 形式、PDF 形式でのファイル出力が可能
- ・ネットワーク環境は、Wi-fi ルーターでの接続で対応可能な水準
(画像や動画ファイルのアップロードの速度については別途決定)
- ・ハードウェアは 2014 年（Windows10 発売時点）水準
- ・セキュリティ管理は一般的なものを使用（情報漏洩、ハッキング対策など）
- ・SLA は、同規模の一般的な Web システム程度を想定（詳細は提案書に記載すること）
- ・最大同時アクセスは展示会出展企業数として 400 件、提案聞き手企業数として 100 件を想定
- ・新潟地域産業見本市の専用ホームページで利用できる出展企業の情報を掲載、検索できるデータベース機能を設置

※受託期間中は本データベースの情報をすべて保持

※新潟地域産業見本市のロゴ等の素材は新潟地域産業見本市実行委員会より支給

※詳細は新潟地域産業見本市受託者と協議・調整のうえ決定

- ・商談結果などの成果の集計・分析が可能
- ・システムの開発にあたっては、新潟地域産業見本市実行委員会と進捗状況の確認を行うなど、定期的に報告、打合せを実施

3. 動作環境

すべての商談関係者（提案者・提案聞き手、開催事務局）が使用するブラウザは以下のとおり。

Microsoft Internet Explorer、Microsoft Edge、Firefox、Chrome、Safari

- ・受託期間中は最新版のブラウザでの利用ができるよう更新すること
- ・旧式版のブラウザは、OS のサポートが終了した段階で対象から除外すること
- ・スマートホンやタブレットなどの端末使用を前提としたインターフェイスは不要

4. サーバー・ドメイン

- ・サーバーの種類、設置場所に制限なし
- ・本システム専門のドメインを取得（URL、問い合わせメールアドレスなどに使用）すること

- ・SSL認証すること
- ・発注者から貸与・譲渡するハードウェア、ソフトウェアはない

5. 成果物

- ・システムのプログラム
 - ・提案者・提案聞き手用マニュアル（いずれも使用部分）、開催事務局用マニュアル（システム全体）
- ※入力したすべてのデータおよびプログラムやデザインなどは、すべて発注者に帰属

6. 納期

令和 2 年 7 月 1 日（水）

※令和 2 年 7 月 1 日（水）からテスト運用開始、令和 2 年 8 月 3 日（月）から本番運用開始

II. 開発

1. 商談会開催の基本フロー

開催情報の登録 → 参加者募集 → ニーズ情報登録 → 提案情報登録 → マッチング → 当日スケジュール調整 → 開催当日 → 開催実績の管理

2. 要求機能

（1）開催情報の管理

- ・開催日時、会場、実施可能商談数（配置可能なブース数から算出）、個別商談時間を管理
- ・参加者募集方法の管理

（2）参加者登録

- ・提案企業（売り手として参加）：提案商材情報、参加希望日時などを登録
 - ・提案聞き手企業（買い手として参加）：ニーズ情報、参加希望日時などを登録
- ※提案聞き手企業は提案企業になるケースもある
※過去の参加回数、提案依頼数・商談実施数・商談成果数、展示会出展などを確認できる機能も付加する

（3）マッチング

- ・提案企業から提案聞き手企業に対する提案を通知
 - ・提案聞き手企業から提案企業に対する面談希望を通知（以下「逆提案」という）
- ※提案企業から提案聞き手企業への提案書の通知はアップロードにて実施：ファイルサイズは相談
※提案聞き手企業は複数ニーズを掲載可能
※提案企業は提案聞き手企業のニーズ別に提案可能
※提案企業による提案のアップロードは、同じ提案を複数の提案聞き手企業に対して一括または提案聞き手企業別に個別で選定して実施することが可能
- ・提案・面談希望通知のリマインドを通知
 - ・提案依頼を受けた相手方の商談の可否を収集
 - ・商談可否の回答結果を相手方に通知
 - ・提案数・逆提案数・商談数などを、企業別・提案種類別などに集計（Excel ファイルを作成）

(4) 開催スケジュールの調整

- ・参加希望日時・商談可否・ブース数・個別商談時間を基本情報とし、商談スケジュールを自動生成
- ※提案企業・提案聞き手企業ともに、可能な限り連続して商談が行えるようにスケジュールを調整
- ※提案企業・提案聞き手企業のスケジュール一覧を作成：Excel形式ファイルを出力
- ・商談スケジュールを提案企業・提案聞き手企業に通知
- ※PDF形式ファイルを出力
- ・商談参加者の変更希望を受け、隨時スケジュールの再調整を実施
- ※スケジュールを通知した後の再調整は、既通知に影響がないよう調整
- ・あらかじめ定めておいた通知日までにスケジュールを決定通知できるよう管理

(5) 商談会の運営管理

- ・提案企業・提案聞き手企業それぞれの出欠情報の登録
- ・提案企業・提案聞き手企業それぞれの担当者の緊急連絡先などを検索
- ・商談ごとにニーズと提案内容を検索
- ・提案企業、提案聞き手企業のアンケート結果の入力
- ※手書き→入力、直接入力などは検討
- ※商談成果は、各商談ごとに入力

(6) 商談結果などのデータ集計・分類

- ・商談結果の集計・開催報告の元データを作成（以前に開催した商談会との実績を比較）
- ・提案企業・提案聞き手企業それぞれの参加回数、提案依頼数・商談実施数・商談成果数を集計
- ・新潟地域産業見本市の会期中における商談会の場合、ブース出展の有無、出展に関連する情報（写真含む）を関連付け
- ・提案企業、提案聞き手企業を主要業界に分類、業界ごとに集計
- ※詳細は新潟地域産業見本市実行委員会と協議の上決定するが、最低限 CSV形式でのファイル出力を可能とする
- ・1～3か月程度を目途に、面談後の活動状況ヒアリングを実施（Web入力）

III. 保守・運用・修正

- ・契約期間中は本システムを円滑に運用すること
- ・日常オペレーションの問い合わせは、9:00～17:00（土曜・日曜・祝日は除く）
- ※本システムの問い合わせについては開催事務局が受託者へ行うこととし、その内容に基づいて、受託者は修正などの対応を行う。ただし、必要に応じて、実行委員会に報告すること
- ・主担当者以外に副担当者を配置
- ・日常的に監視、点検を実施
- ※範囲は、ネットワーク、システム動作異常、不正アクセス、ウイルス管理
- ・障害対応は、ジョブ異常・システム異常の発生時（異常発生から、早急に対応）
- ・本システムの開発の途中で発生した仕様変更については、別途協議により対応
- ・本システムの運用にあたって必要な教育訓練は、適時実施
- ・本システムの運用なかで生じた不具合は、仕様に基づくものは、原則、無償で対応
- ・運用開始後、本システムの仕様を変更する場合は、別途協議により対応し、マニュアルも修正すること

IV. 費用

契約日から令和3年3月31日までの、イニシャルコスト（システムの設計に係る費用や、環境構築に係る費用）と、ランニングコスト（サーバやライセンス等の使用料や、その他保守管理に係る費用）については、契約額の範囲で受託者が負担すること。

なお、次年度（令和3年4月1日）以降のランニングコストについては、新潟地域産業見本実行委員会が支払いかつ、最低3ヶ年度（令和5年3月31日まで）は同じサーバを使用する予定。

ただし次年度（令和3年4月1日）以降の委託費は新潟市の予算措置をもって年度開始前までに提示するものとし、委託費が大幅に増減した場合、実行委員会と協議のうえ、仕様書等を見直すものとする。